

沖縄研修報告書

フロアリーダー 上山 由香里

本部園様は白寿苑と同じぐらいの歴史があり建物に一步足をふみ入れた瞬間、白寿苑の濫觴館に来たような何処か懐かしい雰囲気を感じました。ゆったりとし、そして穏やかな空気が流れており、職員の皆様や入所者の皆様が笑顔で迎えてくださり私達の緊張がほぐれるのもあつと言う間でした。

初日のオリエンテーションの際に幸地事務長よりリーダーの役割についての話を伺いました。その話は、まず施設の組織を一つの山に例えると、新人職員は山の麓におり、これからどう進むのか分からずまだ視野も狭い状態である。それに対しリーダは山の中腹程で上も下も見える所に位置している。下の子は上を見ながら歩んでくる。リーダーは下の子の手本として、道しるべとして頑張るって欲しい。リーダーは下の子のルール作りをする大切な努めがある。と言う話でした。とても分かりやすく白寿苑に戻っても頑張ろうと言う気になりました。

施設内にはたくさんの入所者様の作品や行事の掲示物があり、どれも分かりやすく興味をそそられる物が多く、つい立ち止まって魅入ってしまう程でした。話を伺うと職員を4グループに分けそれぞれが毎月号を担当し、玄関にミニ新聞、施設内にも一年分を掲示し家族の方などに生活風景を理解してもらうようにしているそうです。

また、その先には化粧をして綺麗な衣装を身にまとった方々の写真が額縁に入れて飾られていました。生年祝（トゥーシビー）の写真だそうです。

生年祝とは生まれた干支の年に健康を祝う事だそうです。ですので、13歳、25歳、37歳、49歳、61歳、73歳、85歳、97歳とお祝があります。生年祝いで本土のお祝いと重なるのは61歳（還暦）のみなんだそうです。

掲示してある写真は85歳（生年祝） 88歳（トーカチ祝） 97歳（カジマヤー）の方々でした。生年祝の時は青色の服を、トーカチ祝は青色の上に黄色の服を、カジマヤーは青色、黄色の上に赤色の服を着てみえました。お祝いを重ねる毎に服も重ねるんだそうです。また、カジマヤーとは97歳まで生きると風車を楽しむような童心に変えると言う言い伝えから風車祭とも言われるそうです。オープンカーなどに風車をつけてパレードをし、パレードの最中に出会った人は風車が頂けるそうです。

沖縄独自の風習に触れ合った瞬間でした。

現場では、ナースコールがメロディーである事や職員が作ったセンサーがある事に驚きました。立ち上がった時に鳴るセンサーや特定の方が近づくと鳴るセンサーなど現場の職員が案を出し合い作成されたものが多く、とても実用性にすぐれており出来栄えに関心しました。

また、食事介助をさせていただいていた時に看護師の方も介護職員と一緒に介助をしてみえました。別の場所でも、事務員の方が介助の手伝いや見守りをしたりと施設全体で介護に取り組んでいると感じました。ある職員の「ここは介護施設だから、介護がメイン」という言葉が印象に残りました。私も今までは、この仕事は看護師他職種の人の仕事だからと言う考えが何処かにあったような気がします。もう少し他職種との連携を蜜に取り合い、お互いの仕事を理解し入所者にとって何が大切なのかを考えて行かなければならないと思いました。

2日目の午後からはリハメイク&ドライブに参加させて頂きました。

残念ながらリハメイクの様子は見る事ができませんでしたが、メイク後の入所者様に声をかけると照れくさそうに笑われる笑顔がとても印象に残りました。

また、自宅訪問の時には見慣れた景色を目にして落ち着きがなくなる方や昔を懐かしみ穏やかな表情になる方など、普段の生活では見る事の出来ない表情がたくさん見られ感動しました。白寿苑では外出行事はたくさんありますが現状、自宅訪問は行っていない為、今後取り組んで行きたいと思いました。

緊張と不安から始まった研修でしたが、職員の皆様、入所者の皆様の笑顔やお声かけですぐに緊張もほぐれリラックスした雰囲気の中で研修を行う事ができました。

とても和やかで穏やかな雰囲気が施設内に流れており、そこには職員の皆様が入所者様のニーズを把握し、それに応えようと言う姿勢がみられました。また職員と入所者様の距離の近さや強い信頼関係を感じました。信頼関係は築きたくても簡単に築ける物ではないと思います。私自信、今、入所者様はもちろん家族の方との間にも信頼関係を築いていきたいと思っています。信頼関係を築くにはまず自分が心を開く事、笑顔で接する事、同じ目線で話をする事。そのことによって初めて相手の方も警戒心を解き心をひらいてくれる事。今回の研修で学ばせて頂きました。沖縄独自の文化（チャンプルー文化）からも分かるように、皆様はいろいろな事を受け入れる姿勢やコミュニケーション力に長けているように感じられました。

本部園様は沖縄の北部、美ら海水族館の近くにあり晴れた日には美ら海（澄んだ深い青い海）が一望できるそうです。私達が研修でお世話になった三日間は晴れた日がなく曇りの海しか見る事ができませんでした。それでも愛知県の海とは違い綺麗な色でしたが、職員の皆様に口を揃えて「晴れた日に比べたら全く。ぜひ晴れた日に見に来てください」と

言われました。機会があればまたぜひ来たいと本心から思いました。

今回の研修は初めての沖縄と言う事で不安でいっぱいでしたが、職員の皆様や入所者様の皆様が快く受け入れてくださった事、笑顔でたくさんのお声かけを頂いた事により皆様からたくさんの元気を頂いた様な気がします。また今後の課題も見つける事が出来、充実した研修になりました。

最後になりましたが、今回の研修を快く受け入れてくださった本部園様の皆様、気持ちよく研修に送り出してくださった白寿苑の皆様に感謝申し上げ研修報告とさせていただきます。ありがとうございました。

沖縄研修報告書

日時：12月9日～12月12日

場所：特別養護老人ホーム 本部園様

報告者：吉村 沙季

まずは、ご多忙の中今回の沖縄研修に参加させて頂き、ありがとうございます。
沖縄は12月にも関わらず暖かく、過ごしやすい気候で良い勉強・リフレッシュをする事が出来ました。

今回の研修は自分なりの課題を持って参加させて頂きました。
白寿苑でも課題となっている職員教育についてですが、本部園様では、月に1度全介護職員を集め2時間程度に及び、その月に起こった課題や、研修報告等の意見交換を行い、各自のスキルアップや情報の共有による専門性の向上に努めています。
又、サービス接遇の研修と称しマナーについての勉強に力を入れており、外部でサービス接遇の講習を全職員が受け、希望者のみ筆記試験を受けて職員一人一人のマナーについての意識を高めている。
高齢者に恐れ脱水や様々な障害の対策として、1日1リットル以上摂取することを目標に徹底して行っており、一月試行した結果褥瘡者の軽減につながった。

職員と入所者様の関わり方については、毎月1回ホールにて全体レクリエーションにて【毛遊び】を15時より行っている。

【毛遊び】とは、古くから沖縄で行われていた慣習で、若い男女が野原や海辺に集い、飲食を共にし歌舞を中心とした集会。昔はその集会在男女の交際のも場であった。

本部園では、ボール渡し、風船バレー、ボーリング、DVD鑑賞等のレクリエーションを行い、入所者様と職員の交流の場を設けている。

又、月に1回リハビリ担当者が、午前中にリハビリメイクを実施し、午後からケアマネージャーや介護職員と共に数名ほどでミニドライブや故郷訪問(自宅訪問)に出掛けている。
実際に同行させて頂きました。

ご自身の家が近づいてくると、やはり見慣れた景色とわかり入所様の表情がみるみるうちに変わり、ここはどこだと説明までして下さりました。ご自身の土地でみかんを栽培しており、獲ってもいいよと言って下さったので職員の方と一緒にみかん狩りを行い、入所者様と一緒に食べとても喜んでおり、共に美味しく頂きました。

又、ある入所者様の家を訪問すると、ご近所の方が声を掛けて下さり、入所者様の表情が穏やかになりとても和やかな雰囲気でお話を楽しまれていました。

入所者様にメイクを施すことにより若い頃を思い出し表情に活気が取り戻され、入所者様の内面のサポートを行い、家族や近隣の方たちとの交流もでき、何よりも入所様の笑顔を多く見ることができました。

白寿苑でも外出の前にメイクを施し、より一層外出を楽しんで頂ける様に取り入れていきたいと思いました。

本部園様では、食事摂取、排泄チェック、バイタル等の記録物を任天堂 DS を用いて記録し、そのデータをパソコンに送り、情報を共有して管理している。

もし白寿苑で取り入れるとしたら、メリット、デメリットがあるのでしっかりと精査し検討していかなければいけないと感じました。

沖縄の風習・習慣については、数え年で97歳に【カジマヤー】というお祝いをする風習がある。

【カジマヤー】とは風車という意味で子供のように童心に戻って、風車で遊ぶ儀式から命名されている。97歳になるとたくさんの風車を飾り、集落をオープンカーでパレードし、親族が風車を近隣の方々に配り歩いて盛大にお祝いをする風習がある。

本部園様では、トーカチ【米寿】カジマヤーを一緒にお祝いしているようで、舞台の上で琉球舞踊や三線をひいたり、ご家族の方を呼んでお酒を飲んだりと盛大にお祝いをされている。

本部園様では、ご家族との交流の場が頻回にあり、職員とご家族のコミュニケーションを多くとることにより、信頼関係が築かれているのだなと思いました。

1日の時間がとてもゆったりと流れているので、職員が焦るということもなく、入所者様のペースに合わせて介護されているから、入所者様も落ち着いて安心できる生活が送れているのだととても感じました。本部園様で学んだことを白寿苑で活かせるよう今後、取り組んでいきたいです。

3日間という短い研修ではありましたが、快く引き受けてくださった本部園様の職員の皆様、又、暖かく受け入れてくださった入所者様の皆様に感謝致します。